

## 国語 第2学年 としょかんへ行こう 検討会の想定問答

**指摘 1：**この単元の中心となる学びは何か。

**返し：**本単元の中心は、本を探して親しむ方法である。本探しの案内カードを用いて、選んだ言葉と理由を確認する。参照した指導事項と評価規準の対応は、単元の評価欄に示した。

**指摘 2：**本時の発問は何を考えさせるのか。

**返し：**発問は「前に読んだ本と似た本をどこで探すか」である。棚のまとまりが本探しに使えたという反応を予想するが、同じ答えを言わせることが目的ではない。選択や解釈の理由を言葉にさせる。

**指摘 3：**どんな誤解を予想し、どう手当てするか。

**返し：**予想する難しさは、表紙を順に見るだけで探すことである。棚の表示と背表紙の情報を一緒に確かめる。援助後にも同じ課題に戻り、自分で判断できた点を確認する。

**指摘 4：**何を記録に残せば評価できるか。

**返し：**本文や資料の根拠と解釈を結んだ記録・交流中の説明を評価資料にする。本棚の表示を使って読みたい本を選び、見付け方を友達に説明しているかを、目標と同じ観点で判断する。提出したかだけでは判定しない。

**指摘 5：**意見が異なる場合は、どちらを正解にするか。

**返し：**表記や辞書の意味は確かな見本に戻る。解釈や表現は根拠と目的に照らして検討する。友達と異なる答えでも、その理由を説明できる場合は並べて扱う。

**指摘 6：**活動に参加しにくい児童への配慮はどうするか。

**返し：**教材の拡大や教師の読み上げを用意し、口頭、指さし、短い記述などで考えを表せるようにする。学習指導要領の第3の1(9)に従う。援助を受けたこと自体を評価を下げる理由にしない。

**指摘 7：**主体的に学習に取り組む態度は本時だけで決めるか。

**返し：**学年の目標(3)に従い、試行と見直しの記録を単元中に集める。発言数や教師への従順さだけでは判断しない。

**指摘 8：**時数と活動の配当は何を根拠にしたか。

**返し：**総時数は東京書籍公式単元一覧に記載された2時間である。各時の活動配分と本時の位置は本案の提案である。学級の実態に合わせて調整する。

**指摘 9：**端末がなくても実施できるか。

**返し：**学習の記録は紙で作れる。端末は拡大表示や修正前後の比較など必要な用途に絞る。操作の巧拙は国語の評価に含めない。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie\_ai\_katsuyo)  
[https://www.threads.com/@mie\\_ai\\_katsuyo](https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo)

LINEオープンチャット  
みえ先生ラボ

